

TIC NEWS

vol. **109**
2013.10

(公財) とやま国際センター

〒930-0856 富山市牛島新町5-5

インテックビル4F (タワー111)

TEL (076) 444-2500

FAX (076) 444-2600

E-mail : tic@tic-toyama.or.jp

URL : <http://www.tic-toyama.or.jp>



避難所巡回通訳体験の様子 (富山県広域消防防災センター)

～外国人住民の防災を考える～

災害時の外国人住民を支援する人材の育成を図るため、今年度、とやま国際センターでは様々な事業を行っています。

詳細は特集ページをご覧ください。

とやま国際塾

日時：平成25年7月14日(土)～15日(月)

場所：富山市岩瀬界隈および呉羽青少年自然の家



2日間にわたり、県内高校生を対象とした“とやま国際塾”を開催しました。

1日目、最初に向かったのは岩瀬。富山の国際交流の先駆けとなった人物“米田屋次郎吉”について理解を深めようと、岩瀬ボランティアグループの案内で次郎吉縁の街を散策後、北前船廻船問屋森家を視察しました。その後、「ジョン万次郎より2年前にハワイで活躍した米田屋次郎吉」と題し、長者丸・次郎吉研究会の米田芳彦氏に講演いただきました。

午後からは活動場所をインテックビルおよび呉羽青少年自然の家に移し、外国人スタッフとの交流や英語での授業を体験しました。バースデーライン、自己紹介を通してお互いの情報を共有した後は、世界井戸端会議と称し各国出身者を交え、様々なテーマで会話を楽しみました。

英語での授業は、文学と音楽をテーマに行いました。文学の授業では、世界的にも有名となった村上春樹氏の作品をいくつか取り上げ、彼の人生がそれぞれの作品に与えた影響などについて講義され、高校生たちにとっては難易度の高いものとなったようでした。音楽の授業ではアメリカのロックンロールをテーマに、音楽を聞いたり、クイズに挑戦したりして、その歴史や特徴について学びました。

夜は各国の伝統的な踊りや遊び（ロシアのルチェーヨク、中国のジェンズ（蹴羽）、ブラジルのクッドリーリャ）で盛り上がりました。



蹴羽を紹介する李国際交流員

2日目は、平成23年度から2年間、ブラジル国ミランドポリス市高岡日本語学校に派遣されていた室崎学氏（現高岡市立志貴野中学校教諭）を講師として、異文化理解講座を行いました。室崎氏は青年海外協力隊としてエクアドルに滞在した経験もあり、両国での体験談をもとに“異文化を理解するとは？”“異文化理解の必要性”等について講義してくださいました。

締めくくりは、JICA北陸ボランティア事業支援担当の荒谷尚子氏に、JICAの事業である青年海外協力隊について、説明していただきました。将来、協力隊に参加したいと考えている学生もあり、興味深い内容となったようでした。感想は次のとおりです。

- ・ 普段の授業では体験できない内容だったのでとても良かった。
- ・ 英語にしか興味がなかったが、ロシアや中国、ブラジルの方との交流をとおして、それぞれの国への興味もわいてきた。
- ・ 英語だけの授業は難しかったが、よい経験になった。もっと英語を勉強したいと思えた。
- ・ 自分と同じ海外に興味のある学生と友達になれたことはよかった。
- ・ JICAの事業が魅力的だった。いつか開発途上国に貢献できたらいいと思う。

国際交流員より着任のご挨拶！

ブリツィナ・タチヤナさん（ロシア）

はじめまして。

ロシアのウラジオストクから参りましたブリツィナ・タチヤナと申します。愛称はターニャで、友達にターニャと呼ばれています。2011年に富山大学で国際文化を勉強して、いろんな国際交流活動に参加してきました。そのうち、富山は第二の故郷になりました。ですので2013年8月、ロシア語国際交流員として来県しました。ただいま！

これから国際交流を通してお互いの国について勉強して、すでに短い距離をもっと短くしていきたいと思います。ロシアと日本は近いですよ！ウラジオストクに行ってみれば分かると思います。どうぞ宜しくお願いいたします。



ウラジオストクのアルバータ通り
有名なモスクワのアルパート通りに倣って
作られた市民の憩いの場

置県130年を記念し海外から招へい者が来県!!

置県130年記念イベント「ホームカミングデイ」等に出席するため、富山に縁のある海外からの招へい者が8月16日に県庁を訪れ知事表敬を行いました。来県したのは、ブラジル、アルゼンチン、ペルーの富山県人会から計10名、中国遼寧省から富山ファン倶楽部会員等計7名です。一行は17日のイベント「ホームカミングデイ」に出席した後、県内を視察、懐かしい富山県民との交流を楽しみ、帰途につきました。

～ブラジルから来県した日系4世の大学生ニシダツヨシ君からメッセージを頂きました!～

(ニシダ君の曾祖父のご出身は宇奈月です。)

日本についての印象

日本への旅行はとても面白くて勉強になりました。数日間しかいられていませんでしたが、文化と習慣についてたくさん勉強しました。

最初日本に着いた日にブラジルとの違いがすぐ分かりました。日本では、習慣、丁寧さと親切さがとても大事なことに気がつきました。

それから富山がきれいで暮らしやすい町だということが実際にわかりました。田んぼもけっこう多くてきれいです。日本での生活は快適でインフラが整っています。

五箇山では、山の中の合掌造りのある景色に感動しました。立山に行った時、遠くまで広がる大自然がすごくきれいだと思いました。立山の水が飲めて、夏に溶ける氷の塊も見ることができていい経験になりました。頂上には登ることはできませんでしたが、またいつか是非行ってみたいです。白エビが入っているラーメンは美味しかった。高岡の寿司も美味しくて種類がいっぱいあります。

日程の最後では東京に行って大都会に住んでいるバタバタしている日本人と外国人の生活を視察しました。東京スカイツリーにも行けてきれいでしたが、富士山は見ることはできませんでした。

日本にいる期間が短かったので、日本についての印象はあまり多くないです。私が行った時は2020年オリンピックの開催国がまだ決まっていなかったのですが、東京に決まりましたね！是非2020年に日本にまた来て、いろいろ見て体験したいです。

ありがとうございました！

フェルナンド・ツヨシ・ニシダ
Fernando Tsuyoshi Nishida



国際交流人材バンク通訳者セミナー

日時：平成25年7月7日(日)

場所：環日本海交流会館

講師：東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授
NHK衛星放送、CNNの同時通訳者、会議通訳者
鶴田 知佳子 氏

とやま国際センターの国際交流人材バンク通訳登録者を対象に通訳者セミナーを開催しました。

今回は“よくわかる逐次通訳”と題して講座を行いました。通訳の基本は逐次通訳で、「通訳は逐次に始まり、逐次に終わる」と言われます。講師の鶴田先生からは、「音声を認識し、意味理解し、聴衆を意識し理解できるような訳出表現をする」という通訳のプロセスについての説明があり、情報とコミュニケーションの仕事といわれる通訳の理論について理解を深めました。



災害時における「やさしい日本語」での情報研修

①平成25年6月15日(土) 19:00~21:00
「ワイワイにほんご・たいこうやま」
射水市立南太閤山コミュニティセンター

②平成25年6月29日(土) 10:00~12:00
「日本語教室 in 氷見」
氷見市いきいき元気館内 ワークルーム

③平成25年7月7日(日) 9:30~11:30
「にほんご広場 in なんと」
福光福祉会館 2F会議室

④平成25年7月28日(日) 10:00~12:00
「日本語教室 in 黒部」
黒部市国際文化センター コラーレ

講師：田上 栄子 氏（日本語教育機関トヤマ・ヤポニカ）

地震などの災害が起きたときに、外国人が情報弱者にならないように、的確な情報を伝える必要があります。そのための手段の一つとして「やさしい日本語」による情報提供があります。今回県内の4つの日本語教室の開催日に合わせて研修会を開催し、54の方が参加されました。市の防災担当者や消防関係の方の参加もありました。

研修会では、次の7つのポイントを考えながら、日本人参加者と外国人参加者がいっしょになって「やさしい日本語」に取り組みました。

- ポイント1 重要な情報を見つける。さらにそれがどんな意味か、わかりやすく伝える。
- ポイント2 外国人にとって、どんな言葉が難しいか知る。
- ポイント3 災害の時の言葉はそのまま残し、やさしい日本語の説明を添える。
- ポイント4 文の終わりを簡単な表現にする。
- ポイント5 尊敬語や丁寧語、フォーマルな言葉を使わない。
- ポイント6 あいまいな言い方はしない。複雑でわかりにくいところを簡単にする。1つの文には1つの情報。
- ポイント7 文や文章の構造を簡単にする。（複文は単文に分ける＝主語と述語を1組だけ含む文にする。）

この研修では外国人参加者が日本人参加者の作った「やさしい日本語」の文が本当にわかりやすいかどうかの確認を行い、外国人参加者が日本人ボランティアに助言を行う風景も見られました。

参加者からは、「やさしい日本語って外国人だけではなく、災害時にパニックになった日本人にも必要よね。」「やさしい日本語はむずかしい。でも、日頃から使うことが大切」などの感想がありました。



災害時外国人支援

日時：平成25年7月7日
場所：環日本海交流会館
講師：土井 佳彦 氏（NPO法人多文化）

災害時における多言語研修を行いました。講師経験をもとに災害時の多言語、英語、中国語等のグループには細かい点にとらを感じた」などの感想が

～災害に強い

東日本大震災の記憶中豪雨や異常気象などされています。

災害弱者となりやめ、とやま国際センタ

災害時の外国人支援

災害時の外国人支援の

日時：平成25年8月4日
場所：富山県広域消防
講師：土井 佳彦 氏（NPO法人多文化）

大規模災害時におけるして活躍できる人材の育成。災害時における外国人協会連絡協議会)に基づく係者14名の参加がありました。また災害多言語支援で翻訳する訓練、またた。

当日は赤十字奉仕団のレーという非常食の体験雨等の災害体験も実施し語学ボランティアとして者からは、「富山に住んで日本語は災害時に有効だは大事」などの声がきか

(多言語)ボランティアの養成

(日) 14:30～16:00

(NPO)法人多文化共生リソースセンター東海代表理事)

での通訳・翻訳による情報提供について理解を深めることを目的に研
の土井氏は、東日本大震災発生直後に多言語で災害情報を提供した経
語情報共有のポイントについて説明されました。

ープに分かれて、災害情報の翻訳を体験した参加者の皆さんからは、「災
われずにスピーディに訳すことが必要」、「災害時多言語情報の必要性
聞かれました。



災害情報を翻訳する実践演習

富山を目指して～ “外国人住民の防災”

もまだ新しいところですが、昨今の集
ど、私たちは常に自然災害の脅威にさら

すい外国人住民の防災意識を高めるた
ーでは様々な事業に取り組んでいます。

BOUSAI RADIO

外国人のための災害情報提供

防災意識の啓発を目的として4カ国語（やさしい日本語、英語、中
国語、ポルトガル語）でラジオ番組を制作しています。

FMとやま 周波数82.7MHz

平成25年5月～平成26年2月

毎月第1土曜日 21:55～22:00 やさしい日本語、中国語
第3土曜日 21:55～22:00 英語、ポルトガル語



援のための防災研修、富山県総合防災訓練

のための防災研修

(日) 10:00～16:00

災センター

共生リソースセンター東海代表理事)

広域での連携協力を想定し、災害時に外国人支援者と
成を目的に防災研修を開催しました。

支援ネットワークに関する協定(東海北陸地域国際化
支援要請や情報伝達の訓練を行い、石川県からも関
した。

ンター設置・運営訓練も行い、災害情報を選別し多言
避難所を巡回する際の通訳などの実践演習も行いまし

協力を得て、ハイゼックス炊飯袋で炊いたご飯に力
を行いました。また「四季防災館」では、地震、暴風
しました。

て、外国人17人、日本人12人が参加しました。参加
ている外国人の状況がわかってよかった」、「やさしい
」、「外国人と日本人と一緒に災害について考えること
れました。



富山県総合防災訓練

日時：平成25年8月25日(日) 9:00～12:00

場所：高岡テクノドーム

講師：土井 佳彦 氏

(NPO)法人多文化共生リソースセンター東海代表理事)

富山県総合防災訓練に参加し、外国人災害情報ヘルプセンターの
設置運営訓練を行いました。

41名の参加者が実際に避難所等で掲載される情報を英語、中国語、
ポルトガル語、やさしい日本語の4つのグループに分かれ翻訳作業
を体験しました。また防災訓練を視察しAEDの使い方などの講習
を受けました。

JICAボランティア平成25年度秋募集が始まります！

私たちができること世界の人たちが明日への希望を持てたら、それはきっとあなたの心も満たす素晴らしい経験になることでしょう。あなたも、海外でもうひとつ意義のある人生を見つけてみませんか。

募集期間：平成25年10月1日(火)～11月5日(火)

下記の日程で「体験談&説明会」を実施します。事業概要、応募要領説明、経験者との交流、個別相談のほか、語学テストガイダンス(土日のみ)も開催します。(ドリンクサービス付き)どなたでもお気軽にお越しください！高校生、大学生も大歓迎です！

※予約・参加費は不要、時間内は出入り自由です。

開催地	開催日	開催時間	会 場
高岡市	9月28日(土)	13:00～15:00	ウィング・ウィング高岡 研修室503 (高岡市末広町1-7)
富山市	10月5日(土)	13:00～15:00	(公財)とやま国際センター ラウンジ (富山市牛島新町5-5 インテックビル4階)
富山市	10月9日(水)	18:30～20:30	(公財)とやま国際センター ラウンジ (富山市牛島新町5-5 インテックビル4階)

募集ボランティア 青年海外協力隊／日系社会青年ボランティア(20歳～39歳対象)

シニア海外ボランティア／日系社会シニア海外ボランティア(40歳～69歳対象)

職種 農林水産、加工、保守操作、土木建築、保健衛生、教育文化、社会福祉、観光・商業、スポーツなど多種

【応募に関するお問い合わせ・相談窓口】

・JICA北陸・ボランティア担当

電話：076-233-5931 E-mail: Araya-Naoko.2@jica.go.jp URL: <http://www.jica.go.jp/hokuriku/index.html>

・国際協力推進員(富山県デスク) 高岡 教代

電話：076-444-2500 E-mail: jicadpd-desk-toyamaken@jica.go.jp

“協力隊ナビ”～JICAボランティア経験者と語ろう～ 毎月開催中！

JICAボランティアってどんな活動をしているの?、「現地で生活は?」、「帰国後の進路はどんなの?」など、JICAボランティア経験者が皆さんの疑問や質問にお答えします。毎月第2水曜日開催。申込みは不要ですのでお気軽にお越しください。

10月の協力隊ナビ～JICAボランティア経験者と語ろう～

日 時：平成25年10月23日(水) 18:30～20:30

(今月のみ第4水曜日の開催です！)

*タワー111指定駐車場をご利用の場合、1台につき
500円分の駐車回数券を負担します。

会 場：(公財)とやま国際センターラウンジ

ゲスト：中村則明さん(ガーナ共和国／理数科教師)

主 催：青年海外協力隊富山県OB会

問合せ・連絡先：JICA国際協力推進員

(富山県デスク) 高岡 教代

TEL：076-444-2500

E-mail: jicadpd-desk-toyamaken@jica.go.jp



協力隊ナビの様子

【お詫びと訂正】

Vol.108に掲載しました「JICAボランティアからの現地リポート」でお名前の表記に誤りがありました。訂正し深くお詫び申し上げます。

【誤】金田孝示さん

【正】金田考示さん

Voices from the world ～インドネシア スバン(西ジャワ州)～

世界の富山ファンからのメッセージ

スラハマン ディキイさん(インドネシア科学院 研究員)

Q. 今、どんなお仕事をされていますか？

A. 私は平成15年度、海外技術研修員として来県し、富山県食品研究所で食品分析について研修しましたが、来県前から、今に至るまでずっと食品分析の仕事をしています。インドネシア科学院適正技術開発部で食品技術、バイオテクノロジーの分野の専門研究者として働いています。富山県での研修の成果を持ち帰り、今の仕事に還元することができ、この機会をくれた富山県に本当に感謝しています。



ディキイさん(右から三番目)と研究チームの皆さん

Q. インドネシアの近況について教えてください。

A. インドネシアでは有機農産物に関心が高まっています。私もその分野の研究に忙しくしています。私は食品産業、中小企業と協力して食品開発に取り組んでいますし、また、最近私の研究チームで“Food Bars”という健康食品の開発に取り組んでいます。



ボロブドゥール寺院

Q. 富山とはどんな結びつきがありますか？

A. 富山は忘れることができません。富山のすべてが懐かしい故郷のように感じます。富山で、昔、同じ宿舎で過ごした同期の研修員たちとは是非再会したいです！

Q. 最後に富山の人に一言メッセージをお願いします。

A. すべての富山県民の皆さんに、温かく迎えてくださったことを感謝します。国際センターの皆さんにも研修中は大変お世話になりました。そして食品研究所の皆さんにはたくさんのことを教えてくれ、経験を分かち合ってくれたことを本当に感謝しています。フレンドリーな富山県を愛しています!!

こんな“国際交流”やっています！

～音楽と言葉の国際交流事業「まちなかなつまつり」

特定非営利活動法人 村の音♪(富山市)～

～TICから助成した事業をご紹介します～

音楽・芸術等に関する事業を行い、地域環境づくりや社会福祉に寄与することを目的につくられたNPO法人「村の音♪」。「音楽こそは世界の共通言語」をスローガンにライブや講座を開催しながら音楽文化の振興を目指しています。

さる8月10日に音楽・踊り、料理等による、まちなか国際交流を目的に、「まちなかなつまつり」が富山市総曲輪グランドプラザで開催されました。

南米音楽や民謡のライブ、フラメンコのステージで会場は盛り上がり、夜店では、あんばんやし、インドカレー、ブラジル料理など、多国籍料理を楽しむ人、またサルサを踊りだす人などで会場はおおいに賑わいました。



ボボ・デ・カマロン

Bobó de Camarão

ボボ・デ・カマロンはブラジル北東部バイア州の郷土料理です。普通はキャッサバを使いますが、日本では手に入りにくいのでジャガイモで代用してみました。バイア州ではパーム油、ココナッツミルクをよく使います。パーム油も日本では手に入りにくいのでオリーブ油やサラダ油で大丈夫です。海がきれいでアフリカ文化の影響が強いバイア州には、毎夏たくさんの観光客が来てはアカラジェ、モケッカ等、バイア独特の料理を楽しみます。

～作り方～（2人分）

1. ジャガイモを茹で、裏ごししておく。
 2. 鍋にパーム油、みじん切りした玉ねぎとニンニクを入れ、香りが出るまで炒める。
 3. 2にむきエビを入れて少し炒める。エビが白っぽくなったらエビだけを皿に取りだしておく。
 4. みじん切りしたトマト、ピーマンを入れさらに炒め、トマトペースト、ココナッツミルク、1/2カップの水に溶かしたコンソメ、パプリカ粉を入れ、一煮立ちする。
 5. 1を入れ、さらに煮る。
 6. 最後にエビを入れ、万能ねぎとパセリをかけ、塩コショウで味を整える。
- ～ご飯やガーリックライスと一緒にどうぞ！～



ブラジル出身

羽広 理恵 エリカさん お薦め料理！

（羽広さんは富山県海外技術研修員として
パレプラン高志会館で調理を研修中）



～材料～

むきエビ…………… 14個
ジャガイモ…………… 中1個
玉ねぎ…………… 中1/4個
ピーマン…………… 小1/2個
トマト…………… 中1/2個
ニンニク…………… 2かけ
万能ねぎ…………… みじん切り
パセリ…………… 併せて大さじ1
ココナッツミルク…………… 80ml
トマトペースト…………… 大さじ1
コンソメ…………… 小さじ1
パプリカ粉…………… 小さじ1/2
パーム油…………… 大さじ1
塩…………… 少々
コショウ…………… 少々

TICからのお知らせ

これからの行事予定

日本海学講座

“韓国と日本の文化交流”

10月26日(土) 14:00～15:30

高岡市生涯学習センター研修室503

(ウイングウイング高岡内)

講師 富山大学人文学部准教授 林 夏生 氏

とやま国際草の根交流賞授賞式

11月5日(火) 10:00～10:30 パレプラン高志会館

国際交流フェスティバル

11月10日(日) 10:30～17:00 富山駅前CiCビル内

外国人カラオケ大会、世界の音楽と踊りなど

日本海学シンポジウム

“海がつなぐ文化と環境”

12月7日(土) 13:30～17:00 北日本新聞ホール

講師 大阪大学大学院文学研究科教授

武田 佐知子 氏ほか

国際交流人材バンク

“災害時外国人支援ボランティア募集”

地震などの大規模な災害時に、日本語の理解が十分でなく、必要な情報を得ることが困難な外国人住民を支援するため、通訳・翻訳を通じた情報収集・提供等の活動を行って頂くボランティアを募集します。

【募集対象者】

防災に関心の高い方で、日本語と日本語以外の言語、もしくは「やさしい日本語」の通訳・翻訳ができる方

【活動内容】

大規模災害時に(公財)とやま国際センターの要請に基づき、ボランティアとして通訳・翻訳を通じた情報収集・提供等の活動を行う

【登録方法】

国際交流人材バンク登録申請書と災害時外国人支援ボランティア登録票を記載し、センター宛にお送りください。

様式は(公財)とやま国際センターのホームページからダウンロードできます

詳細はとやま国際センターホームページをご覧ください！

(公財)とやま国際センター賛助会員募集及び 寄付のお願い

公益財団法人とやま国際センターは、民間レベルの国際交流、国際協力を推進するため、様々な事業に取り組んでいます。TICの事業にご支援いただける賛助会員の方を募集しています。

年会費（1口）個人会員 3,000円

団体会員 30,000円

また、財政基盤の充実を図るため、寄付についてもよろしくお願い申し上げます。

